留萌市文化賞

教育行政の功績を讃えて

前田氏に贈呈

昭和58年度の留萌市文化賞が、長年にわたり教育行政に尽力されてきました前田秀雄氏に贈られることになりました。

受賞者は、本年度で10人目になります。なお、受賞式は11月3日に公民館講堂で行われます。

〈前田秀雄氏のよこがお〉

市内沖見町3丁目　74歳。

昭和5年北海道旭川師範学校卒業、留萌小学校に就任。

昭和24年港北小学校長、東光小学校長を経て、44年北光中学校長をもって退職。現在は沖見町5区町内会の顧問を勤めています。

▽活動のあしあと

氏は、昭和36年に設置された留萌市立教育研究所の初代所長として教育研究業務に献身の努力を捧げ、教科、教科外の研究と共に子どもの個性を生かす教育を進め、現在の留萌市教育総合センターの基礎を築きました。

またこの間、市内市立小中学校長会々長として学校経営、校長会の運営にその手腕を発揮すると共に、自らも北海道国語連盟理事、北海道学校保健会理事として、国語教育の充実、児童生徒の健康管理に努力された功績も大きいものがあります。

昭和47年、留萌市教育委員に任命され、その後10年間、教育委員長職務代理者、教育委員長として、市の教育行政の推進に尽力されました。

それらの業績に対し、本年6月北海道都市教育委員会連絡協議会より会長表彰を受けました。

おめでとうございます

吉澤氏が功労者表彰を

長年にわたり市勢の振興発展に尽力されてきました吉澤氏が市功労者表彰を、また尾田氏を初じめ38名の方々が市社会顕功賞を受けられました。

功労者表彰

氏は、社会福祉に熱意を示され、特養老人ホーム建設に尽力されました。

幸町4　吉澤雄次氏

社会顕功賞

▼住民自治活動功労
尾田由太郎・白鳥ハツエ・金森邦雄・安居暁丸

▼自治功労
川崎　忠・安代康二・佐藤清一・加藤淳一

▼教育文化・スポーツ功労
桜井春夫・内堀良一

▼産業開発功労
井原長治・中塚政雄

▼社会福祉民生安定功労
橋本季雄・山岸春子・古城ひさ志・加藤孝三郎・平野由太郎・阿部喜美野・吉澤よしゑ・奈良千年司・保坂たつ江・土岐敬造・斉藤マサ・高源秀諦・五十嵐　秀・吉光春次郎・山本　武・夏井秋雄・藤原栄松

▼統計功労
和島富五郎・丸瀬一男・桜井光雄

▼災害防止功労
堀口久雄・川内禹之吉・井口正一・真田清・三ツ井信雄・中島賢治

こんなことをしています

留萌市統計協議会

留萌市統計協議会（会長佐藤貞次郎）は、昭和四十年に設立され現在の会員数は、五十四名です。

協議会は、統計業務の推進に寄与し、統計思想の普及を図るとともに、会員相互の親睦を図ることを目的としています。

事業内容は、統計調査に関する事務の研究、調査員の推せん、円滑な調査活動を推進するための調査員の研修会などを行っています。

五十七年度に実施した調査は、商業統計調査、全国物価統計、就業構造基本調査、工業統計調査などです。

現在、「住宅の国勢調査」といわれる大規模な住宅統計調査が行われており、会員の方々が活躍されています。

工事着々

住みよさを広げる街に

〈心かよい合うマチ〉をめざして、ことしも市内の随所で継続・新規事業が進められています。

道路や排水溝の整備は勿論、公共施設建設事業も近づく冬を前に急ピッチで進められています。

区画整理

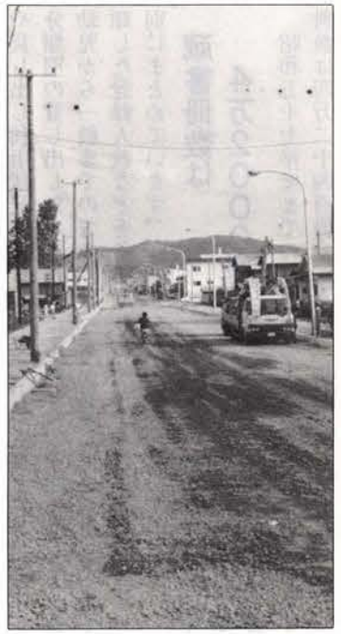
快適な街並み高砂地区

■高砂土地区画整理事業

昭和49年度から区画整理を行っており、62年度の完成を目指しています。

今年度は、総額2億4600万円で家屋移転、早道通りの改良舗装工事区画街路の舗装などを行っています。

早道通りの改良舗装工事は昨年に引き続き211メートルを路面改良し、道路幅18メートル2車線街路灯などを整備して10月末に完成されます。



住宅

日本海を望む高層市営住宅

■沖見町建替住宅建設事業――11月には入居

57年度から2カ年計画で進められています。完成は59年3月ですが、11月末には入居できる見込みです。

事業費総額は5億5600万円、7階建て48戸、市内でも唯一の高層住宅です。

また、元町でも建替住宅建設事業が進められており、11月に4階建1棟16戸が完成します。

学校

3ケ年計画で留萌中学校を建設

■留萌中学校々舎移転改築事業

同校舎は以前より老朽化が著しいため改築の要望などもあり、また昨年10月の不慮の火災によって一部が焼失したことにより、建設開始予定を一年繰り上げ、今年度から3カ年計画で事業を進めています。

今年度は、鉄筋コンクリート3階建校舎、普通教室9、理科室2、家庭科室2、職員室　放送室などを建設します。